



富田林市長 吉村 善美

所信表明



所信表明全文

「さあ、ひとつ、未来へ！」
 じごもの豊かな未来 富田林の豊かな未来へ

6月13日に招集された第2回市議会定例会において、吉村市長は市政運営に係る所信を表明しました。ここでは、所信表明のうち前文をご紹介します。
 ※所信表明全文は都市魅力課（市役所1階）や中央・金剛図書館に備え付けている他、市ウェブサイト（市長の部屋のページ）からもご覧いただけます。

4つの柱

- ① すべてのことを、みんなで応援するまちづくり
- ② すべての市民の暮らしを支える住民福祉の増進
- ③ 人とまちが賑わい、地域の魅力と可能性を開くまちおこし・地域おこしを推進
- ④ 行財政改革・市役所改革の継続と市民サービス向上の両立を追求

所信表明前文

このたび本年4月23日執行の市長選挙におきまして、富田林市長として再び市政運営を担わせていただくこととなりました。改めまして皆様にお礼申し上げますとともに、その重責に身の引き締まる思いでございます。

この4年間は、「心をひとつに、コロナをのりこえよう」をスローガンに、市民の皆様とともに、新型コロナウイルス対応に力を尽くした4年間でした。各種施策を進める中で、至らぬ点もあったかと思

いますが、市民や事業者の皆様からいただく、「市長、一緒に頑張ろう」の温かいお声は、私に前へ前へと進む勇気を与えていただきました。改めまして、これまでご尽力、ご協力をいただきましたすべての皆様方に、心からの感謝を申し上げます。本年5月8日をもって、感染症法の位置づけが2類から5類へと移行し、これから本市の新型コロナウイルス対応は、ポストコロナを見据えたいわば復旧・復興への道のりを歩むこととなり

ますが、この間の物価高騰が、各種事業所や農業者、子育て世帯等市民生活全般に大きな影響を与えています。これらへの対策についてもしっかりと取り組んでまいります。

そのような中において「市民とともにつくる、市民が幸せになる、市民本位の市政」の実現に全力で取り組むという私の決意は、いささかも揺らぐことなく、この度の再任により、更に意を固くしております。

誰もが「富田林に生まれて良かった、暮らして良かった、長生きして良かった」と思っていただけの富田林の創造に向けて、議員各位並びに市民の皆様とともに、「一つ、ひとつ、未来へ」着実に形づけていく4年間としてまいります。

ご承知のとおり、今日、本市はもとより日本全体で人口減少が続いています。しかし、振り返れば、人口が増加し高度経済成長した時代は、いわば日本が画的・直線的な発展をめざした時代だったと思えます。

「成熟社会」また「定常型

社会」といわれる時代を迎えた今、私たちは、決して後ろ向きになるのではなく、逆に地域それぞれの多様な発展の可能性が高まった好機ととらえ、そのような時代だからこそ、私たち自身や地域が持つ価値に目を向け、その可能性を広げ、今後、他の地域には無い多様な新たな価値を生み出していくことで、富田林の持続的発展と人々の幸福が実現できると確信しています。

私たちのまち・富田林には、そのような価値と可能性があふれています。古(いにしえ)の時代から続く「農のこころ」を継承する方々。まちに賑わいと活気を生む地域商工業・サービス業、私たちの生活を支えるエッセンシャルワーカーの方々。さらに、大都市・大阪の発展を支える勤労者の方々。高度経済成長の時代を支えてこられた高齢者の方々。地域住民の安全と生活を守る町会・自治会、住民、ボランティアの方々。女性や若者、私たちの未来である子どもたち。多様に満ちた未来を創造する文化芸術

教育団体や外国人市民の方々。人生における様々な障壁や偏見、困難を乗り越えてこられた多くの市民の方々。そしてこの場におられる議員の皆様の見識、また本市職員のためまぬ努力、これらのすべてが、私たちのまち・富田林の価値であり可能性であると思えます。

私は、これらの価値と可能性を富田林のまちづくりの「真ん中」に置いて、富田林から実現できる豊かな未来を、皆様とともに力強く創造していきたいと思えます。

市長・副市長・教育長の給料の一部 および市長の退職手当を減額します

本市の厳しい財政状況を勘案し、2期目につきましても市長の給料月額を20%、退職手当の50%を減額します。

また副市長・教育長の給料月額を10%減額します。 閏人事課(内線321)

たにぐち かつひさ うえの ひとし 副市長に谷口 勝久さん、教育長に植野 均さんが就任

令和5年6月の第2回市議会定例会の同意を受けて、6月14日付で副市長に谷口 勝久さん(58歳)、6月13日付で教育長に植野 均さん(61歳)が就任されました。

また、6月13日付で置田 保巳副市長(69歳)、12日付で山口 道彦教育長(67歳)が退任しました。

谷口 勝久副市長

谷口さんは、昭和63年から市役所に勤務し、市長公室長、総務部長などを歴任しました。任期は4年です。



植野 均教育長

植野さんは、平成20年から市教育委員会に勤務後、金剛中学校長、第一中学校長などを歴任しました。任期は令和6年12月6日までです。



置田 保巳さんが退任

置田さんは、昭和47年から市役所に勤務し、上下水道部長、市長公室長、議会事務局長などを歴任の後、令和元年6月から副市長を務めました。



山口 道彦さんが退任

山口さんは、葛城中学校長、小金台小学校長などを歴任の後、令和元年6月から教育長を務めました。

